

令和8年4月に開校する新設中学校の開校準備を円滑に進めるため、元岡地区新設中学校（仮称）開校準備委員会を5月29日（木）に周船寺公民館で開催しました。

今回の委員会では次の項目について議論し、教育目標と校歌の作曲者を下記のとおり決定しました。

- 開校準備委員会設置要綱・傍聴要領の改正
- 学校教育目標
- 校章・校歌の検討 等

会議資料  
はこちら



## 周船寺中学校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ、他者を尊重し共に力を合わせ、豊かな未来を切り拓くたくましい生徒の育成」に決定しました。

## 校章・校歌の検討

校章は、元岡中・周船寺小・西都小の児童生徒に行ったアンケート結果の報告を行いました。（詳細は会議資料をご参照ください。）

校歌は、作詞と作曲を分けて制作する旨を説明し、作成者が決定しました。

【校歌の作曲】市原 匡貴（いちはら まさき）氏

大学卒業後、幅広いジャンルでの楽曲制作に携わり、メジャーやインディーズの枠を超えて数々のトラックや楽曲を提供されています。2022年6月に株式会社を設立し、さらなるクリエイティブな活動を展開されています。

※作詞は、前回の委員会で桑原 拓也（くわはら たくや）氏に決定済みです。

## 校章・校歌作成にあたっての主な意見

校章は地域の人が見ても、どの学校かわかるものをお願いしたい。

アンケート結果に「優しい」「明るい」が出ているので、硬い感じよりも明るい感じが良いと思う。

校歌は既存校と同じく「宮崎開き」という言葉を入れてほしい。

校章・校歌は両校区が認識されるようなものを選んでほしい。

アンケート結果から、古墳などの歴史的要素がある一方で、新しい人々が集まることで新しさも感じられていることがわかった。

子どもたちが、過去の良さと新しい街の魅力を両方感じ取ることができるような、校章・校歌だったら良いと思う。

5月29日 木曜日

日直



周船寺・西都校区の歴史について  
両校区の歴史を学び開校準備委員会での議論を深めることを目的として、福岡市博物館から講師を招き、専門的な視点から両校区の歴史について説明していただきました。  
その後、校章・校歌作成にあたっての意見交換を行いました。